

横井定株式会社

SDGsの取組

取組・活動内容	<p>当社は、安心して快適に暮らせる環境を実現するために、企業活動を通して社会に貢献することを常に意識しています。 公衆衛生に欠かせないマスクを製造販売していますが、衛生材料であるがゆえに使用後はいずれ廃棄されています。自社のかかるCO2排出量を少しでも低減し、循環型社会づくりに協力をします。 合わせて、環境負荷の少ない商品の開発と流通に取り組み、関わる人への啓蒙活動に取り組んでいます。</p>		
	目指すゴール	取組・活動内容とゴールとの関係	目標
	経済 3. 4. 9. 10. 17	<ul style="list-style-type: none"> ①サプライチェーンの再構築 マスクの安定供給を実現する ②生産工場の労働環境向上 (基本的人権の確立、労働条件の改善、生活水準の向上、経済的・社会的安定の増進) 	<ul style="list-style-type: none"> ①材料供給地域を2か所（2022年現在）から、2025年までに3か所以上に増やす。 ②生産工場の労働環境向上、ILS（国際労働基準）による監査を受け95%以上の達成を継続する。
	社会 3. 4. 5. 10. 17	<ul style="list-style-type: none"> ①災害等発生時の優先供給体制を構築する。 ②国境なき医師団への支援 ③差別区別のない職場づくり ④スポーツ・文化を運営する団体への活動支援 	<ul style="list-style-type: none"> ①日本衛生材料工業連合会と連携した災害時プッシュ型支援体制の継続。地元自治体や警察への寄付。 ②国境なき医師団への定額寄付、2002年～2025年まで継続。 ③工場にて礼拝スペースを1カ所設置、ジェンダー平等の規定と研修（1回/年）の実施（2025年迄） ④2020年からスポーツ・文化を運営する団体へのスポンサーとして活動支援（2023年迄）
	環境 7. 11. 12. 13. 15	<ul style="list-style-type: none"> ①環境負荷の少ない仕様・材料に切り替える。 ②生產品が廃棄焼却されたとして、使用材料のCO2排出量を排出権取引価格に換算し、一定率を緑化事業に協力する。 ③ペーパーレス化の取組み ④使用材料の環境負荷を軽減する取組み 	<ul style="list-style-type: none"> ①包装材の印刷を植物由来材料に毎年10%以上順次変更 ②国土緑化推進機構への定額（50万円/年）を寄付を2021年から2026年まで継続。 ③工場内でオンライン業務への順次切換え、3年以内に紙使用量10%削減 ④ポイ捨て禁止及び適切な廃棄を啓蒙するメッセージの発信をします（2021年～2026年迄）